

東北大学法科大学院 教員紹介（実務家・みなし専任教員）

佐藤 裕一 SATO Yuuichi

現職

東北大学大学院法学研究科教授

主な経歴

東北大学法学部法学科卒業 昭和52年3月

司法試験合格 昭和57年10月

司法研修所入所 昭和58年4月～昭和60年3月

弁護士登録（仙台弁護士会） 昭和60年4月

阿部長法律事務所勤務 昭和60年4月～昭和63年5月

佐藤裕一法律事務所開設 昭和63年5月～平成15年3月

財団法人交通事故紛争処理センター嘱託弁護士 平成6年11月～平成10年11月

宮城県人事委員会委員 平成13年7月

東北学院大学経済学部非常勤講師 平成13年4月～平成16年3月

仙台弁護士会副会長 平成14年4月～平成15年3月

東北大学大学院法学研究科非常勤講師 平成14年4月～平成16年3月

阿部・佐藤協同法律事務所開設 平成15年4月～平成19年8月

東北大学大学院法学研究科教授 平成16年4月

宮城県医師会倫理高揚推進委員会委員 平成18年4月

弁護士法人杜協同阿部・佐藤法律事務所設立、代表社員就任 平成19年9月

宮城県こども病院倫理・治験委員会委員 平成20年4月

全国倒産処理弁護士ネットワーク理事 平成22年4月

地方独立行政法人宮城県立病院機構評価委員会委員 平成22年8月

担当科目

ローヤリング、民事法発展演習、エクスターンシップ、

主要業績

著書

1. 市民に身近な裁判所へ(平成11年6月)(日本弁護士連合会(編)日本評論社)(72頁~78頁)(共著)
2. (改訂新版)暮らしの法律 基礎知識(平成14年3月)(日本弁護士連合会(編)河北新報社)(126頁~128頁)(共著)
3. 事例研究 民事法(平成20年10月)(日本評論社)(663頁~695頁)(共著)
4. 震災の法律相談Q&A(平成23年10月)(民事法研究会)(147頁、208頁、企画・編集関与)(共著)

論文

1. 県議会の定数問題に関する意見書(昭和61年5月)(宮城県議会)(県会議員の依頼により意見書をまとめて県議会に提出した(頁数は不明)。)
2. 和議整理委員としての意見書(東北紙工株)(平成10年11月)(仙台地方裁判所)(負債総額121億円という大規模な和議事件の整理委員として再建の可能性について検討し、裁判所に対して意見書を提出した(31頁)。)
3. 民事再生事件監督委員としての意見書(鎌田建設株)(平成14年1月)(仙台地方裁判所)(地元の中堅規模の建設会社(負債26億円)の監督委員として、再生計画に関する意見を述べた。再建に消極的な評価の意見を述べた。計画案は最終的に可決されたが、その後同社は破産に至った(27頁)。)
4. 宮城町村会だより連載(まちづくりの法律相談)(平成14年4月~現在)(宮城県町村会)(1年に6回のペースで宮城町村会だよりに法律相談シリーズを連載している。問答式で2頁である。)
5. 民事再生事件監督委員としての意見書(株小野良組)(平成17年6月)(仙台地方裁判所)(負債総額112億円という地元ゼネコンの監督委員として再生計画に関する意見を述べた。この再生計画案は「暫定再生債権」という新たな概念を持ち込んだものであり、民事再生法が想定している手続といえるかどうかについて検討を加えた(37頁)。)
6. 震災法律相談Q&A(平成23年3月)(事務所ホームページブログ)(東日本大震災後、直ちに事務所のホームページに震災法律相談Q&Aというブログを立ち上げて、関係自治体にリンクを貼ってもらった。被災した住民からの数多くのアクセスがあった。)

その他

1. 企業における民暴対策(平成6年1月)(けやき研究会)(異業種研究会において企業における民暴対策をレジュメ的な文書にまとめて講演した(6頁)。)
2. 税理士に対する損害賠償請求事件について講演した際のレポート(平成9年9月)(けやき研究会)(前項同様の研究会で、税理士の専門家責任につきレポートした(10頁)。)
3. セクシュアル・ハラスメントの傾向と対策(平成13年10月)(けやき研究会)(前

項同様の研究会で、当時話題となっていたセクシャルハラスメントの問題につき企業側からの視点でレポートした(8頁)。

4. 倒産時の債権回収実務(平成15年9月)(けやき研究会)(前項同様の研究会で、倒産時の債権回収実務についてレポートした(7頁)。商品引き上げ等の実践的なものから、動産売買先取特権の物上代位までをテーマとした。)
5. 同族会社の商事仮処分事件(平成17年9月)(けやき研究会)(前項同様の研究会で、同族会社の経営権をめぐる争いに際して行われた各種の商事仮処分についてレポートした(10頁)。
6. 弁護過誤と弁護水準論について(平成19年6月)(けやき研究会)(前項同様の研究会で、弁護過誤をテーマとして過失を判断する基準となる弁護水準論を検討した(7頁)。この頃から医療事件を多く扱っており、医療水準論が弁護過誤にも当てはまるかという視点からレポートした。)
7. 企業不祥事と謝罪に関する考察(平成21年6月)(けやき研究会)(前項同様の研究会で、当時マスコミ等で話題になっていた企業不祥事と謝罪の問題を企業防衛の観点からレポートした。)
8. 原発による風評被害に対する損害賠償(平成23年9月)(けやき研究会)(前項同様の研究会で、東日本大震災による福島第1原発による風評被害に焦点を当てて、これまでの判例や中間指針をもとにレポートした。)
9. パワーハラスメントについて(平成23年1月)(けやき研究会)(企業や自治体のパワーハラスメントの問題を企業防衛の観点からレポートした。)